



3年 国語 「気になる記号」 谷口先生

成果

- 単元に対するねらいが明確だった。
- 単元の学習計画の提示があったので、今の学習場面に気付かせることができた。
- 記号カードを模造紙上で操作するのは、よかった。
- 校内の危険箇所を想起できる掲示物があり、思い出すときに使えそうだった。



課題



- ▽集団と個の兼ね合い。最初に個の時間をとって、自分の考えを決めた方がよかった。最後に、子供たちから「あ、自分の考えとちがった！」がうまれたのではないかな。
- ▽学校で使える記号か使えない記号かをはっきりさせた方が、もっとアクティブになったのではないかな。
- ▽ゴールの提示をはっきりすべきだった。
- ▽課題に、『朝日小の』という限定があった方がよかったのではないかな。
- ▽集団解決が長かった。『危険か危険じゃないか』などのポイントを絞ったらよい。
- ▽集団でやる意味、グループで話すことの必要感をしっかりもつこと。
- ▽教師が、最後に交通整理をすればよかった。次時への視点をあげればよかった。
- ▽集団で話すという意図を明確にすべきだった。教師が、子供のよさ取り上げて、軌道修正することもできた。

4年 国語 「ひとつの花」 小倉先生

成果

- 本時の活動に児童が見通しをもっていた。
- 戦争について具体的に想像させていたのがよかった。
- 戦争へのイメージを広げ、物語の叙述に着目したことで、子供の思考が上手く流れていた。
- 交流の場面で、掲示物により、場面の移り変わりを確認したことは、思考を深め活性化させていた。
- 交流の中で、叙述に注意しながら話をすすめている子供がいた。
- 子供たちは、意欲的に教師の指示・発問と向き合っていた。



課題

- ▽グループ・ペアがいつも同じなので、他の子供とも課題をもっと話し合わせることもできた。
- ▽思考をつなげる発問を明確にしたい。
- ▽単元と本時の繋がりや、児童の思考の流れが見えにくい。
- ▽戦争について知識や叙述で追っていくことは、筆者の伝えたいこととの流れが不十分であった。



常盤指導主事の助言

- 1回1回の授業で全てがまとまるのではなく、『子供が考えたり、教師が教えたり』を効果的に取り入れるとよい。
- 3年生の授業において、本単元で『育てたい資質・能力』『単元の構造図』『アクティブ化ポイント』が繋がっていたのがよかった。そこから、単元を大切にしていることが伝わる。しかし、『育てたい資質・能力』と、『単元の目標』との整合性が気になった。
- 『育てたい資質・能力』と『まとめ』を合わせるとよい。順を追って示したつもりが、子どもにとっては難しかったようだ。「どこに？」という発問が、「学校に」目を向かせられなかったのではなか。『学びを深める手立て』と、『子供の実態に合わせる』ということが大切である。
- 4年生の授業において、『育てたい資質・能力』と、『目標』『課題』『まとめ』が、1本化されていたが、単元の目標と本時の整合性がとれていなかった。先生の発問に対しての子供たちは良いことを言っていたので、子供たちへの教師の評価の伝え方を工夫する必要がある。

ポイント！ 『資質・能力＝単元の目標＝課題＝まとめ』に、一本の筋を通した単元開発が重要です。